

専門性を生かして医療の
安全・安心に貢献する“臨床工学技士”

川口市立医療センター

臨床工学科 副技師長

やまもと ひで ゆき
山元 秀之

医療機器は日々進化し、より高度な治療を可能にしています。医療センターではさまざまな病気に対応できるよう最新の機器を取りそろえており、医師による診断・治療の質を高め、手術時間の短縮による患者の負担軽減や難易度の高い症例にも対応できる体制を整えています。

こうした医療機器を安全に使用できるように日々保守・管理を行い、時には操作するのが、私たち“臨床工学技士”の仕事です。消化器外科や泌尿器科で使用する手術支援ロボット「ダヴィンチ」をはじめ、脳神経外科や整形外科ではナビゲーションシステムや神経モニタリング装置など、さまざまな診療科で実に多くの医療機器を使用しています。そのため、それぞれの機器に対応するには、幅広い知識と高い専門性が求められます。臨床工学技士は、医療機器を実際に使用する医師や看護師が問題なく使用できるように設定し、万が一トラブルが発生した際にも迅速に対応できるよう、チームの一員として現場に立ち会ったことで、医療の安全・安心に貢献しています。

街中で見かけられるAED(自動体外式除細動器)も、医療機器の一つです。有事の際に使用できるよう、設置場所や使い方を日頃から確認しておきましょう。



～性と健康の相談～

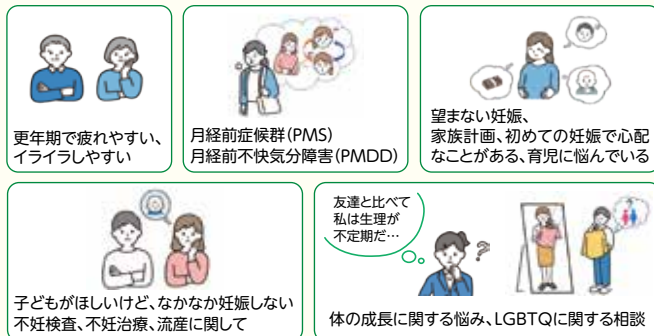
「性と健康の相談」では不妊カウンセラーや保健師が、妊娠や避妊に関しての家族計画、妊娠を希望するかたの相談(不妊症・不育症)、流産・死産、月経前症候群(PMS)、更年期、LGBTQなどに関する相談に応じており、令和7年度からは相談日を拡充して実施します。

専用ダイヤル ☎048-242-5152

【面接】(要予約)…火～木曜日(祝日、年末年始を除く) 10:00～15:00

【電話相談】…月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 10:00～15:00

以下のような相談ができます▼



<性と健康に関するオンデマンド配信をご覧ください>

大好評により、令和6年度に公開した講座を再度公開します。今後も市民のかた向けのオンデマンド配信などを予定しています。決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

▲オンデマンド配信
はこちらから▲性と健康の相談
ホームページ

☎健康増進課 ☎048-256-1135 FAX048-256-2023

川口市の

官民連携地域情報
ウェブサイト

TRICO カワグチとは

行政の情報だけでなく、地域やお店の情報など、さまざまな川口の情報が集まる川口市公式の地域情報ウェブサイトです。

イベント情報も
チェック

good bye 電報
川口市 広報課 職員による 新メンバーは誰だ?P
ちょっとくだけた!? 市政情報番組組

85.6 MHz
City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日:平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE ID
@kawaguchi.city

川口市
公式アカウント

※きらり川口情報メールと同じ内容の配信も可能

暮らしに役立つ
ぜひご利用ください

きらり川口情報メール



つなぐ樺

天皇盃第30回全国都道府県対抗
男子駅伝競走大会6区区間賞おがさわら
小笠原 慶翔さん
けいと

複数のランナーが決められた長距離の区間を走り、次の走者へと棒をつないで、ゴールするまでの時間を競う、日本発祥の陸上競技「駅伝」。駅伝は、マラソンなどとは異なり、個人の走力だけでなく、区間ごとの選手配置、ペース配分、チームとしての総合力や戦略も勝敗を左右する。次の走者へと想いを込めて棒をつなぐ姿は観る人にも感動を与える。

川口市で生まれ育ち、幼稚園の頃からサッカーを習っていた小笠原慶翔さん。小学校の持久走は負け知らずで、陸上で活躍する兄の後姿を追いかけて自身も陸上を始め、芝東中学校で陸上部に入部し、週6日のトレーニングに打ち込んだ。近くのサイクリングロードで、多い日には12〜13キロを走るハードなメニューをこなす傍ら、勉強にも熱心に取り組み、顧問からその知性を高く評価される。

毎年、広島県を舞台に開催される、中学生から社会人までの選手が棒をつなぐ「全国都道府県対抗男子駅伝競走大会」に中学3年生だった今年1月、埼玉県代表選手として出場を果たした。この大会で小笠原さんは6区を任され、5位で棒を受けた。レース直前まで、自分が棒を受け

た。この春、陸上競技でも実績のある高校に進学する。箱根駅伝に出場するという目標を持ち、「人としても強い、陸上選手としても強い、人に頼られる人になりたい」と真っ直ぐな言葉と表情で語る小笠原さん。これから目標や未来の自分に向かって棒をつなぎ走り続ける。(誠)

この春、陸上競技でも実績のある高校に進学する。箱根駅伝に出場するという目標を持ち、「人としても強い、陸上選手としても強い、人に頼られる人になりたい」と真っ直ぐな言葉と表情で語る小笠原さん。これから目標や未来の自分に向かって棒をつなぎ走り続ける。(誠)

